

グリーン購入ネットワークの活動は？

購入ガイドラインの策定・公表

製品やサービス分野ごとに、購入時に考慮すべき重要な環境配慮事項をリストアップした「購入ガイドライン」を策定しています。(2017年4月現在19分野で制定)

「エコ商品ねっと」による商品情報の提供

「エコ商品ねっと」は、購入ガイドラインに基づく商品・サービスの環境情報を掲載しているデータベースです。年4回更新し、2017年3月時点で、約15,000点の商品を掲載しています。エコマークなどの環境ラベル取得商品やグリーン購入法に適合した商品・サービス等も簡単に検索することができ、年間80万回を超える閲覧があります。

▼「エコ商品ねっと」の掲載分野（一部）

●紙	●文具・事務用品	●照明
書類・信覧用紙(457) トイレットペーパー(252) ティッシュペーパー(15)	文具・事務用品(5326) 文の他の文具事務用品(16)	ランプ 電球 照明器具
●家具類	●包装材	●食品
家具(946) インテリア・寝装品(59)	包装材(16)	食品(加工食品)(216)
●自動車等	●資材	●災害備蓄用品
自動車(622) タイヤ(57) エンジン油(1) 自動車タイヤ摩耗(3) 自動車関連用品(3)	工具(273) 工具(42) 工具(30) 工具(11)	災害備蓄用品(飲料水・食料)(20) 災害備蓄用品(生活用品・資材)(4) 工具(79) 手袋(2) テント・ブルーシート(1)
●家電製品	●OA機器	●サービス
冷蔵庫(65) テレビ(102) エアコン(229) ガスストーブ・コンロ(2) 洗濯機(5) 電子レンジ(13)	コピー機(347) プリンタ・複合機(689) カートリッジ(2158) (マニコン)(887) ミニターフ(139) ドキュメント・名刺ドライブ(23) 記録用メディア(574) スピーカ(117) シャレード(281) プロジェクター(40) 複数台用(12) 電子式計算機(53) OA・PCサプライ用品、印刷資料(121) プロジェクト(198)	新規登録(24) グリーンセール(2) カートリッジ(2) グリーン電力(2) 印刷(5) 環境文書認証(10) 新規登録(2) クリーニング(1) 引越搬送(1)
●日用品	●織物製品	●その他
日用品(18) 消耗品(22) 洗剤・石けん(26)	衣類(72) 文の他の織物製品(11) 織物素材(2)	その他商品(2)

掲載商品募集中！

グリーン購入大賞による優良事例の表彰

「グリーン購入大賞」を通して、グリーン購入の普及・拡大に取り組む優良事例を表彰しています。応募団体の中から大賞、優秀賞が選ばれるとともに、特に優秀な取り組みに大臣賞（環境大臣賞、経済産業大臣賞、農林水産大臣賞）が授与されます。

取り組みの拡大・国際的な展開

グリーン購入の取り組みは、国内外に広がっています。GPNは東京を拠点とし、国内6地域（北海道、宮城、埼玉、横浜、大阪、九州）では地域ネットワークが活動を展開しています。2005年には、国際グリーン購入ネットワーク（IGPN）が設立され、現在、アジア12か国・地域の組織が、それぞれの国や地域で、グリーン購入の推進に取り組んでいます。



会員になると

充実した会員サービス

GPNに入会すると、さまざまな特典があります。

- ニュースレター『GPN NEWS』の購読（年4回）
- 「エコ商品ねっと」への商品情報掲載によるPR（有料）
エコ商品ねっとへ掲載すると大阪版エコ商品ねっとへ自動的に掲載されます（無料）
- 会員専用ページのご利用
- 研究会、研修、ガイドライン策定へのご参加
- チラシ同封サービスのご利用（有料）
- GPNシンボルマーク、GPN印刷サービス、輸配送シンボルマークのご使用
- GPNホームページ上で情報発信
- メールマガジンの購読による省庁関連情報等のお届け
- GPN発行物の割引

問い合わせ・入会申し込み

大阪グリーン購入ネットワーク事務局

<http://www.osaka-gpn.jp>

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC／ITM棟11F (NPO法人エコデザインネットワーク内)

TEL: 06-6615-5272 FAX: 06-6616-7098

E-mail: info@osaka-gpn.jp



この印刷物は古紙配合率70%以上の紙を使用しています



大阪グリーン購入ネットワーク

OSAKA GREEN PURCHASING NETWORK

環境への負荷が小さい製品やサービスの優先的購入を進めます。—「買う」から始めるエコ。



●グリーン購入とは

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

●購入を通じて産業のグリーン化を促します

グリーン購入が広がれば、環境配慮型のマーケットが拡大し、企業に環境負荷の小さい製品開発を促すことになります。又、環境に積極的な企業を支援することになります。

●誰でも、今すぐできる地球環境保全への取り組みです。

どのような企業や行政機関、家庭でも毎日何らかの製品やサービスを購入しています。グリーン購入は、誰でも今すぐにできる地球環境保全への取り組みです。

●法律にも裏付けられた取り組みです

2001年4月施行のグリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）では、国の機関はグリーン購入に取り組むことが義務、地方自治体は努力義務、事業者や国民にも一般的な責務があると定められています。



大阪からグリーン購入活動を充実させましょう。

Green Purchasing Network

大阪グリーン購入ネットワークの活動とは

大量生産・大量消費の社会システムを前提とした人間の社会活動そのものが今、地球環境の破壊・汚染をもたらし、深刻な影響を及ぼしていることを多くの人々が認識し始めています。地球本来の恵み豊かな環境を将来の世代に引き継いでいくため、私たちは、当たり前ととらえがちな生活様式や事業活動を見直し、より環境負荷の小さい、持続可能な循環型社会について責務を負っています。

私たちが、そのために今すぐ取り組むことのできる重要な行動の一つに「グリーン購入」があります。グリーン購入とは、製品やサービスを購入するとき、まず必要性を十分に考え、価格や品質だけでなく、環境への視点を重視し、環境への負荷ができるだけ小さいものを選んで優先的に購入することです。このグリーン購入を進める私たちの行動が、市場を通じて、

製造・販売業者側に環境に配慮した商品の開発、供給を促すことにもなり、持続可能な循環型社会の構築において重要な役割を担います。

グリーン購入を広く普及させていくためには、都市に生活する全ての主体間の連携が不可欠です。このため、「大阪グリーン購入ネットワーク」の設立を市民、行政、民間事業者、大学、試験研究機関、環境NGO・NPOに対し、広く呼びかけていくこといたしました。

私たちは、グリーン購入ネットワーク(GPN)と連携しながら、大阪の身近なグリーン商品・サービスの情報発信と、購入する側と製造・販売する側のお互いの意見、情報を積極的に交換しながら、購入する立場の意見が、事業者の製造・販売活動に反映されていく活動を目指します。

活動方針

大阪GPNは2012年1月に設立されました

- 1 地域とのつながりを大切にしながら、環境に配慮した製品・サービスを普及させる活動を行い、グリーン市場を拡大します
- 2 環境に配慮した製品・サービスを提供している事業者の活動を応援します
- 3 消費者と事業者、行政などの意見・情報の交換を積極的に行っています
- 4 学校、企業、消費者を対象とする環境学習活動を協働で行い、「グリーン購入」の理解者を増やしていきます

事業内容

広報普及事業

- ニュースレターの発行
- ウェブサイトの運営
- 会員企業の環境に配慮した製品・サービスのデータベース化、大阪版エコ商品ねっと情報発信を行う
- 展示場への出展
- 会員企業の環境配慮型製品・サービスを展示

セミナー・見学会事業

情報交換・啓発普及のためのセミナー・見学会を開催します。

グリーン購入塾

グリーン購入に精通した人材を育成するため、小学生・中学生に対し講師の派遣を行います

グリーンな製品・サービスの提供 情報発信

情報発信



・エコデザイン
・環境経営
・環境情報の公開

大阪GPNの活動

商業都市・大阪におけるグリーン市場の拡大

↓
持続可能な社会へ

グリーン購入 情報チェック

情報チェック

グリーン購入 情報チェック

情報チェック

情報チェック

- ・環境負荷の低減
- ・環境意識の向上
- ・環境取り組みのアピール
- ・エコライフ推進

価格
利便性
品質
デザイン
環境

Message

理事長 池上俊郎 NPO法人工デザインネットワーク 理事長



大阪グリーン購入ネットワーク(以下、大阪GPN)の構想は2011年に始まりました。3月11日には、東日本大震災が発生しました。震災は天災でした。地球表面のプレートが動き、海面が動き、「気候変動の救世主と目されていた原子力発電所神話」が崩壊しました。2012年1月に大阪GPNはスタートしました。

狭義のグリーン購入は、法に基づく商品の調達です。広義の「グリーン購入」は、環境負荷・温暖化ガスを削減する商品製造・消費のシステムとそのマネジメントシステムを創り、社会的サービスのインフラの一つとすることだと思います。
“FUKUSHIMA”が今もそのことを開示しています。

副理事長 花田眞理子 大阪産業大学大学院 人間環境学研究科教授



大阪GPNは2017年に満5周年を迎えました。この間、地球温暖化や生物多様性喪失、資源枯渇といった地球環境問題も、ヒートアイランドなどの地域環境問題も、残念ながら改善傾向はありません。一方で、技術進歩やエシカル意識など、変革の種は次々に芽吹いています。今こそ、自治体・企業・家計などそれぞれの立場から、グリーン購入を通じた持続可能な社会づくりが求められているのです。一大消費地であり、製造の拠点を擁し、さらに豊かな自然をも抱えるこの大阪の地から、真に豊かな経済社会への変革の大きなうねりをご一緒に起こしていきましょう。

1996年にグリーン購入ネットワークの発足以来20年を超みました。日本の環境先進性を築いてきたことが皆様とともに、国内外から評価されます。一方で、多様な商品が進化し展開する現在に即した取組が求められています。建築設計する立場から見ますと、“設計仕様を決める素材の評価作業過程”は全てが環境負荷を減少させる素材選択行為であり、“グリーン購入する事”です。

現場でのグリーン購入実施を活性化しやすくする試みを、“グリーン購入担当初心者用基礎研修会”から始めました。段階を追って充実させ、グリーン購入実施が進めやすい環境形成を促進します。

組織の部署に関わらず多くの方が、迷いなく自発的に製造消費行動の起点であるグリーン購入を進めていけるようにしたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

副理事長 更家悠介 サラヤ株式会社 代表取締役社長



2017年7月には、九州北部と東北で、局地的豪雨で川が氾濫し、大きな被害が出た。この原因に、日本海の海水温が3度から4度C上がり、海水の蒸散が活発になり、湿った空気が日本列島に引き寄せられて、大雨を降らし、災害をもたらさせた。このように地球温暖化は待ったなしに進み、異常気象が頻発しているのに、いまだ温暖化を認めない大統領もあり、遅々として対策も進まない。GPNは、地球環境の保全と、現代文明の持続的な発展をめざし、もっともっと活性化し活動すべく、私も含め、参加各位の発奮を願う次第である。